

# あなたの口腔は 大丈夫ですか？



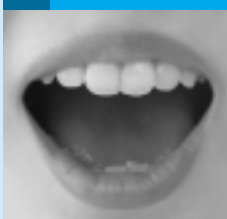
今回は「口腔の病気」について  
歯科口腔外科の林先生にお話を伺いました。

平成15年に施行された健康増進法の基本方針の項目の中に「歯の健康保持」が明示されました。口腔の健康を維持することが全身の健康に大きくかかわっているという研究結果が明らかとなり、国民の健康増進要因として必要であることが法的に認識されたものです。

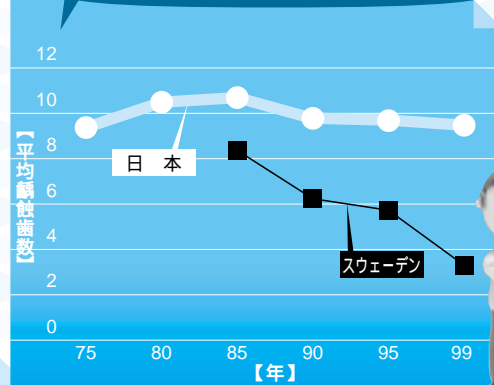
逆にいえば、国民の口腔の健康状態が法的な指針を必要とするほど悪く社会的問題となっているということです。

「毎日歯を磨いているのに…」これは歯科を受診される患者さんのほとんどが言われることばです。このような患者さんに「なぜ虫歯になる

歯の病気は  
なぜおこるの  
でしょう？」

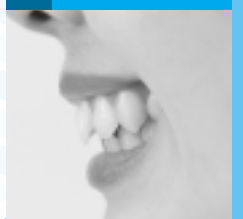


グラフ1 20歳の齲蝕歯数の推移



医療の組織の中では、歯科医師と医師とが分かれていることはどなたもご存知でしょう。これは文明社会

口腔の病気は  
日本で最大の  
病気？



の始まりとともに世界的に口腔疾患の罹患率（病気にかかる率）が非常に高く、歯科の専門医の必要性が他の科の専門医に比べて圧倒的に大きかったためです。しかし、現代医学の進歩とともに人々が口腔の疾患にかかる率は著しく減少し、一部の先進国では小児の虫歯がほとんどなくなつたところもあります。

ところが我が国では現在でも齲蝕（虫歯）、歯周病（歯槽膿漏）という口腔の二大疾患に9割以上の人が罹患しています（グラフ1）。つまり口腔の病気はいまだに国民最大の疾患のひとつといえます。当院歯科口腔外科を受診される方もほとんどが齲蝕や歯周病が原因で発生した疾患が手術を必要とするほど悪化した患者さんです。

のかご存知ですか？」と問いかけると、はつきりした答えをされる方はほとんどありません。日本では歯の病気があまりにもありふれた身近なものになってきているため、人々はこれを病気と認識していないことが多いようです。

実際、病気にかかった方がその原因について考える前に歯科の治療に対する嫌悪感が立ちふさがり、処置